

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公表番号】特表2006-512097(P2006-512097A)

【公表日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2006-015

【出願番号】特願2005-510053(P2005-510053)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 1 2 N	7/08	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	43/00	1 0 1
A 6 1 P	43/00	1 2 1
C 1 2 N	7/08	
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月20日(2006.12.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

p53をコードする核酸配列を含む組換えMVAウイルス(rMVA)を含む組成物。

【請求項2】

該p53が野生型マウスp53である請求項1の組成物。

【請求項3】

該核酸配列が配列番号1のヌクレオチド配列を含む請求項2の組成物。

【請求項4】

該p53が野生型ヒト p53である請求項1の組成物。

【請求項5】

該核酸配列が配列番号2のヌクレオチド配列を含む請求項4の組成物。

【請求項6】

CTLA-4遮断薬、CpGオリゴデオキシヌクレオチド、またはCTLA-4遮断薬とCpGオリゴデオキシヌクレオチドの両方を含む免疫調節物質をさらに含む請求項1の組成物。

【請求項7】

該CTLA-4遮断薬が抗体である請求項6の組成物。

【請求項8】

該抗体がモノクローナル抗体である請求項7の組成物。

【請求項9】

p53-発現悪性腫瘍を有する対象に導入される、p53をコードする核酸配列を含む組換えMVAウイルスを含む、p53-発現悪性腫瘍の治療用組成物。

【請求項10】

該対象がヒトである請求項9の組成物。

【請求項11】

該組成物の導入が該p53-発現悪性腫瘍に対して有効な免疫応答を誘発する請求項9の組成物。

【請求項12】

該p53が野生型ヒト p53である請求項9の組成物。

【請求項13】

該核酸配列が配列番号2のヌクレオチド配列を含む請求項12の組成物。

【請求項14】

1回以上繰り返して導入される、請求項9の組成物。

【請求項15】

CTLA-4遮断薬、CpGオリゴデオキシヌクレオチド、またはCTLA-4遮断薬とCpGオリゴデオキシヌクレオチドとの両方を含む免疫調節物質と併用される、請求項9の組成物。

【請求項16】

該CTLA-4遮断薬が抗体である請求項15の組成物。

【請求項17】

該抗体がモノクローナル抗体である請求項16の組成物。

【請求項18】

該免疫調節物質が、組換えMVAウイルスを含む組成物の導入の前、同時または後に導入される請求項15の組成物。

【請求項19】

該免疫調節物質が、1回以上繰り返して導入される、請求項15の組成物。

【請求項20】

該導入の方法が皮下、経皮、皮内、腹腔内、筋肉内、腫瘍内および静脈内注射からなる群から選択される請求項9または15の組成物。

【請求項21】

p53をコードする核酸配列を含む組換えMVAウイルスを含む組成物および該組成物の投与の説明書を含む、p53-発現悪性腫瘍を有する対象の治療用キット、この場合、該投与が該p53-発現悪性腫瘍に有効な免疫応答を誘発する。

【請求項22】

該p53がヒト p53である請求項21のキット。

【請求項23】

該核酸配列が配列番号2のヌクレオチド配列を含む請求項22のキット。

【請求項24】

CTLA-4遮断薬、CpGオリゴデオキシヌクレオチド、またはCTLA-4遮断薬とCpGオリゴデオキシヌクレオチドとの両方を含む免疫調節物質をさらに含む請求項21のキット。

【請求項 25】

該 CTLA-4遮断薬が抗体である請求項24のキット。

【請求項 26】

該抗体がモノクローナル抗体である請求項25のキット。

【請求項 27】

該対象がヒトである請求項21のキット。

【請求項 28】

p53をコードする核酸インサートを含むMVA組換えプラスミドを含むベクター。

【請求項 29】

該MVA組換えプラスミドがpLW22である請求項28のベクター。

【請求項 30】

該核酸インサートがヒト野生型p53をコードする請求項28のベクター。

【請求項 31】

該ベクターが配列番号5の配列を含む請求項30のベクター。

【請求項 32】

突然変異体 p53を過剰発現する細胞に対するp53 特異的細胞障害性Tリンパ球(CTL)応答を生じさせるための、p53をコードする核酸配列を含む組換えMVAウイルスを含む組成物。

【請求項 33】

p53をコードする該核酸配列がマウス野生型p53をコードする請求項32の組成物。

【請求項 34】

該核酸配列が配列番号1のヌクレオチド配列を含む請求項33の組成物。

【請求項 35】

p53をコードする該核酸配列がヒト野生型p53をコードする請求項32の組成物。

【請求項 36】

該核酸配列が配列番号2のヌクレオチド配列を含む請求項35の組成物。

【請求項 37】

CTLA-4遮断薬、CpGオリゴデオキシヌクレオチド、またはCTLA-4遮断薬とCpGオリゴデオキシヌクレオチドとの両方を含む免疫調節物質が併用される、請求項32の組成物。

【請求項 38】

該CTLA-4遮断薬が抗体である請求項37の組成物。

【請求項 39】

該抗体がモノクローナル抗体である請求項38の組成物。

【請求項 40】

該免疫調節物質が、組換えMVAウイルスを含む組成物の導入の前、同時または後に投与される、請求項37の組成物。

【請求項 41】

該免疫調節物質が、1回以上繰り返して導入される、請求項37の組成物。